

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

◎ 自主自律の精神を重んじ、知・徳・体にわたる「生きる力」を育成する。  
 自ら学び・・・生涯にわたって学び続けようとする姿勢  
 自ら創り・・・知識や情報の中から知恵を絞り新たなものを生み出す探究心  
 自ら拓く・・・人生を切り拓く強い意志

- ① 自主自律精神と豊かな心の育成
- ② 将来の夢や希望を実現するキャリア教育とICTの推進
- ③ 他者との協働による特別活動の実践とシティズンシップ教育の推進
- ④ 働き方改革とコンプライアンスの徹底
- ⑤ 生徒の学びを引き出す授業改善の推進

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- 総合的な探究の分野について体系的・系統的に理解し関連する技術を身に付けることができる。
- 個人のキャリア形成に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決できる。
- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。

総合的な探究の時間の学習評価

- 総合的な探究の分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 個人のキャリア形成に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

生徒の実態

- 目的意識を持ち、自主的・自発的に取り組んだ経験が少ない。
- グループ活動に苦手意識を持っているため、積極的に話し合いに参加する姿が見られない。
- 企業人としての知識と技術を系列授業から身に付け、将来の進路を前向きに考える生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・特別支援コーディネーターを中心に生徒支援や養護教諭・担任等と連携を取りながら支援を行う。
- ・出身中学校や近隣の特別支援学校と連携して支援を行う。

目指す生徒の姿

- 目的意識を持ち、自主的・自発的に取り組むことができる。
- 基礎的な資質・能力が身に付き、活用することができる。
- 社会人として必要なコミュニケーション能力を身に付け活用できる。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

- ・進路探究を通して、職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する力を養う。
- ・地域探究において、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ・産業社会と人間のカリキュラムで培われたキャリア形成・社会人基礎力を基に、今後の進路形成を構築する時間とする。

学習活動、指導方法等

- ・進路活動において、調べ学習を行う。また、クラス発表を行う。
- ・進路活動において講師依頼する。
- ・課題発見から始まる探究の流れを身に付ける。
- ・地域の人材を活用し、地域探究に取り組む。
- ・地域と連携して、就業体験学習を行う。
- ・修学旅行を通して、客観的な視点を養い、地域探究につなげる。
- ・年次統一でワークシートを作成し、体験の報告書や講演の感想等を記入させ、学習内容を整理させる。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・学校・年次・地域と一体となった指導体制づくり。
- ・教室や体育館を使用して発表形式で学習を進めることができる環境づくり。
- ・地域人材の活用、及び、生徒の探究活動に必要なフィールド開拓。